



「正解のない問い」に挑む子供達！

今年は、雪の多い日が続ぎ、朝夕何かと心配が多いことと思います。そんな中、こちらは雪が多い方がよいとばかりに、冬季オリンピックが開催され素晴らしい演技や競技が繰り広げられています。選手は、四年に一度のオリンピックに向けて、「何をすればよいか」それぞれ、一人一人が「正解のない答え」に対して挑戦していることだと思います。ある人は、基本トレーニングを積むことを中心に練習する。また、ある人は今シーズンになって新しい曲で演技に挑戦する。また、ある人は競技直前に難度を高くして挑戦する。失敗があるかもしれないけど、それぞれが、「自分の考え」を信じて挑戦しています。

さて、近年、宇宙探査機が月への着陸に挑戦したり、新しい技術が次々と生まれたり、「正解のない問い」に立ち向かう大人たちの姿も目立ちます。彼らに共通しているのは、失敗を恐れずに「自分の考え」を信じて一歩踏み出す勇気だと言われています。子供達も、「周りの言動に合わせる」ことで「安心」を得ることもあつたかと思っています。しかし、「自分はどうかしたいか」を自分に問ひかけ、自分から動くことで、今後の景色は必ず変わると思います。

今年度、「自由な発想からスタート」「自信をもって挑戦しよう」「自分の言動で表現しよう」という「三自大作戦」を意識して活動してくれた子供達です。残り一か月余りの今の学年、より充実したものになるよう、様々な「正解のない問い」に自分の考えを振り絞って自分なりの「答え」を出してほしいと思います。それは、他の人と同じでなくてもいい「自分の答え」であってほしいと思います。

暦の上では春を迎えたものの、ここ神石ではまだまだ寒い日が続いていますが、子供達は元気です。雪が降っていれば外で遊びます。そんなたくましさを用意あわせている子供達の「自分の力で『正解のない問い』に挑む力」を信じ応援していきたいと思っています。

校長 田丸 栄

